



たきいNOW



 関西医科大学附属滝井病院

たきいNOWとは?

たきいNOWは、地域の皆様に滝井病院の「いま」をお伝えし、当院が提供する医療へのご理解を深めていただくことを主旨として発行しております。

コンテンツ

- ☆ 2013年(平成25年)附属滝井病院は新たな歩みを創めます。
- ☆ 外科腹腔鏡手術
- ☆ 脳血管内治療について
- ☆ 放射線部の活動
- ☆ 第15回市民公開講座のお知らせ



2013年(平成25年)附属滝井病院は新たな歩みを創めます。



病院長 岩坂 壽二

滝井病院リニューアルプログラムを紹介します。

まず本年4月にPETセンターを開設し、最新のPET、CT、MRI、シンチグラフィーなどを駆使して、癌の診断、脳血管・脳脊髄実質の評価、心筋の状態などを把握し、より精確な診断が可能となります。

さらに4月には、心臓血管病センター(心臓外科と血管外科)が再開され、循環器内科・CCUを入口として、心臓・血管病の完璧な治療を目指すことが出来るようになります。乳腺外科の新設も予定されています。5月には南館7階に腎不全(尿毒症)を患っておられる人の豊かな社会復帰を目指して、42床の血液透析センターがオープンします。

そして、2014年(平成26年)には、附属滝井病院の医療センター化を実現するために、新本館の建設が始まります。本館の規模は地下1階、地上6階の300床の病室、すべての外来部門を設け、レストラン、コンビニも併設します。2016年(平成28年)4月に新本館での医療を開始します。その間、南館・北館をリニューアルし、現在の6床総室はすべて4床準個室仕様とし、より快適な病院となります。つぎに本館開業後に旧館を解体し、80m×100mのサッカー場がすっぽり入る広々としたホスピタルガーデンを1年間かけて整えます。

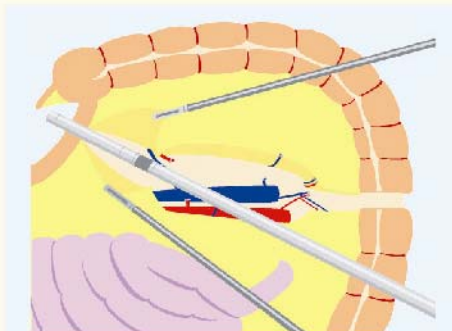
今年からスタートする新しい歩み、80年の歴史を持つ附属滝井病院は「慈仁心鏡」を楚として、患者さん、ご家族とともに医療スタッフは病と闘い、最新で最高の医療が提供できる病院を創ります。どうか、ご支援下さることを年頭に際してお願いします。

外科腹腔鏡手術について



外科・講師

吉田 良



大腸癌の腹腔鏡手術(イメージ)



(腹腔鏡)

(手術鉗子)

腹腔鏡手術機器

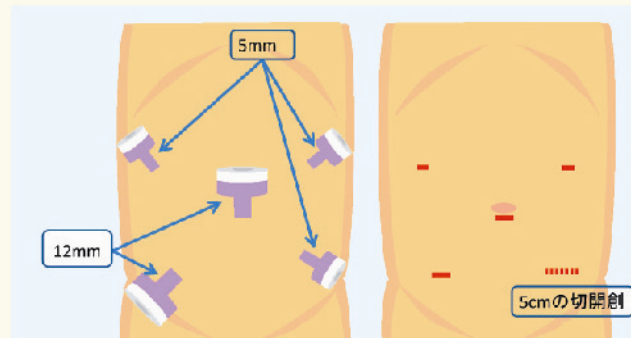
腹腔鏡は、お腹の中(腹腔内)を直接見るための直径1cm程度の内視鏡です。内視鏡挿入と同時に、お腹の中に炭酸ガスを入れて腹壁を持ち上げ、作業スペースを作ります。お腹の中を十分に観察した後、さらに細い孔を開けてそこから手の代わりになる鉗子という細い手術器具を入れて、開腹手術と同じように手術を行います。

当院外科における腹腔鏡手術は、食道がん、胆嚢がん、肝臓がん、胃がん、大腸がんなどの悪性疾患だけでなく、急性虫垂炎、ヘルニア、血小板減少性紫斑病(脾臓摘出)、S状結腸軸捻転、結腸膀胱瘻などの良性疾患に対しても行い、良好な結果を得ています。

特に大腸癌手術では、全結腸直腸がんの7割程度の手術で腹腔鏡手術を行っています(当院2011年度結腸直腸がん141症例)。お腹に5mm~12mmの孔を5カ所と5cm程度の切除腸管を取り出す切開創で手術が可能です。手術方法は、開腹手術に準じて行っており再発率なども開腹手術に比して遜色ありません。

この手術の長所は、傷が小さく、痛みが少なく、回復が早いこと、内視鏡による拡大視が可能であり開腹手術と比較して出血量をかなり少なく抑えることができます。また、その手術方法から腸管の癒着

が起こりにくいため、術後の腸閉塞の発症を低く抑えることが可能です。この手術の欠点は、テレビモニターを見ながらの細かい手術になるため、手術時間が若干長くなります。また、視野が狭く臓器が立体的に見えないこと、手術器具が特殊であることなどから、高度な手術技術が必要となります。さらに、すべての症例で腹腔鏡手術が可能なのではなく、開腹手術が適応となる場合もあります。



S状結腸癌腹腔鏡手術(イメージ)
お腹を大きく切らずに手術をします

低侵襲で整容性に優れ、回復が早いために入院期間が短縮され、早期の社会復帰が可能な腹腔鏡手術は、今後も大いに発展が期待できる医療技術です。

ポイント

- ☆ 傷が小さいので痛みが少なく回復が早い
- ☆ 出血量が少ない
- ☆ 術後腸閉塞の発症率が低い

<相談先> 関西医科大学附属滝井病院・外科受付 (06) 6993-9543 (直通)

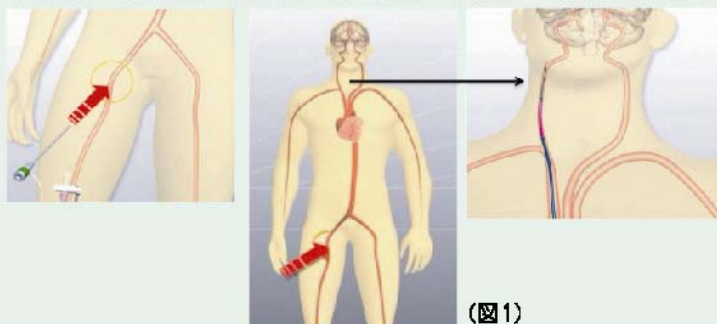
<担当医師> 吉田 良

脳血管内治療について



脳神経外科・講師
須山 武裕

大腿部の動脈から頸部の動脈までカテーテルを誘導



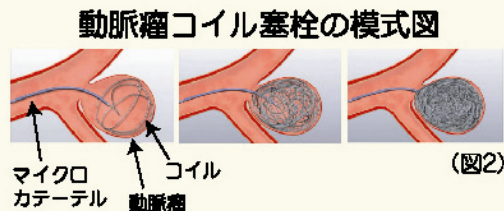
(図1)

脳血管内治療とは、いわゆるカテーテル治療のことです。主として足の付け根の動脈から直径約1～3mmのカテーテルを脳の血管まで通して(図1)様々な脳血管の病気を治療する方法です。この治療法は開頭手術や、皮膚切開の必要がないため、低侵襲治療として近年広がり続けています。

以下に代表的な疾患について簡単に説明します。

【脳動脈瘤】

脳動脈瘤塞栓術は脳動脈瘤(脳血管にできたコブ)に対して血管の中からコイル(プラチナ製の糸)を詰めて破裂予防を行う治療です(図2)。クモ膜下出血をおこした動脈瘤や検査で偶然発見された未破裂脳動脈瘤に対しては開頭手術の必要のない血管内治療が可能な場合があります。

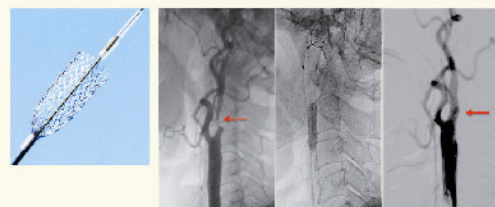


(図2)

【頸動脈狭窄症】

頸動脈狭窄は脳梗塞の原因となる疾患の一つです。頸動脈ステント留置術は血管の中から狭窄部位を広げる治療で、風船カテーテルと併用して、“ステント”と呼ばれる金属性の網状の筒を使用して血管を拡張させます(図3)。この治療法は局所麻酔で施行でき、高齢者の方や様々な合併症を持った方でも負担を少なくして行えるのが利点です。

ステント 頸動脈ステント留置術の実際

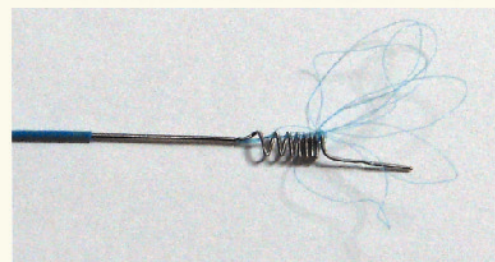


(図3)

【急性期脳梗塞】

対象となるのは脳血管が閉塞してから短時間で、血栓溶解薬の点滴注射の適応外となる患者さんです。脳梗塞の初期所見が軽度な場合に施行します。時間的な制限はあるものの閉塞している脳血管に直接カテーテルを通し、血栓溶解薬を注入、あるいは血栓回収機材(図4)などを使用して閉塞した血管を再開通させることが可能です。

血栓回収デバイス(メルシー®)



(図4)

以上簡単に述べましたが上記の治療法は、個々の状況に応じて検討する必要があります。脳神経外科ではそれぞれの方に合わせた治療を行っていますので外来にて相談してください。

<相談先> 関西医科大学附属滝井病院・脳神経外科受付 (06) 6993-9583 (直通)

<記事担当> 須山 武裕

「シリーズ」～病院スタッフの紹介～

【放射線部の活動】



放射線部技師長
水野 正善

当院放射線部は、X線写真を撮影する一般撮影部門、胃や大腸、胆のうなどの検査をするX線TV部門、現代医療にはなくてはならないX線CT部門、日進月歩で技術革新が進み新しい検査法が生まれるMRI検査部門、臓器の機能(働きの程度)を検査できる核医学検査(アイソトープ検査)部門、心臓や肝臓などの検査、治療を行う血管造影検査部門、手術をしない治療としての放射線治療部門の7部門で業務を行っています。

構成メンバーは、放射線科医師、診療放射線技師、看護師、事務員でそれぞれに連携しながら放射線画像診断、放射線治療の業務に当たっています。

診療放射線技師は、各種画像検査において、患者さんの協力を得ながら、放射線被ばくの低減に努め、安全性に十分配慮しながら、よりよい正確な画像を提供できるように日々努力しています。更に、放射線機器管理や放射線治療の線量計算及び照射を行っています。

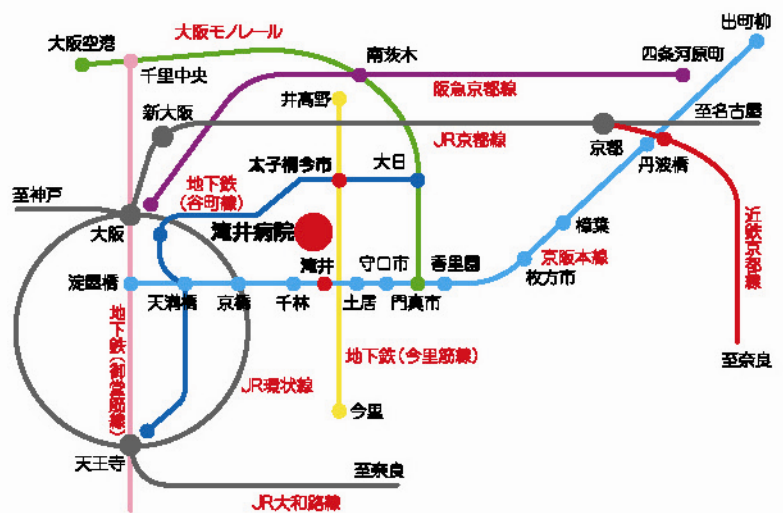
今後も放射線部は他の部署との連携医療を心がけ、患者さんへの治療の一端を担って参ります。

「第15回市民公開講座」

- 日 時 : 平成25年2月2日(土) 14時～16時
- 場 所 : 守口文化センターエナジーホール(京阪守口市駅前)
- 定 員 : 約400名
- 受講料 : 無料
- 内 容 : 「糖尿病と動脈硬化 ～血管もアンチエイジング!～」
循環器腎内分泌代謝内科 野村 恵巳子 助教
「食事と生活習慣病 ～今日からできる食生活の工夫～」
糖尿病認定看護師 大久保 縁 看護師
「膝・股関節の痛みについて ～太るから痛い? 痛いから太る?～」
整形外科 徳永 裕彦 准教授
- お問合せ : 附属滝井病院管理課「市民公開講座」担当 電話06-6993-9506

参加申込は御座いませんので、当日会場へ直接お越し下さい。みなさまのご参加をお待ちしています。

アクセスマップ



- ・京阪電車「滝井駅」徒歩3分
- ・地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市駅」(2番出口)徒歩6分



関西医科大学附属滝井病院

〒570-8507 大阪府守口市文園町10番15号
TEL 06-6992-1001 (代)
HP <http://www.kmu.ac.jp/takii>